

氏名	石岡俊之	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	作業療法学 行動神経科学				
学位	博士（障害科学）				
学歴	2006年東北大学大学院医学系研究科 障害科学専攻博士前期課程修了，2009年同後期課程修了				
経歴	2009年埼玉県立大学講師，2016年埼玉県立大学准教授				
所属学会（役職）	Society of Neuroscience，日本神経科学会，日本神経心理学会，日本高次脳機能障害学会，日本作業療法士協会，認知神経科学学会，埼玉県作業療法士会，作業療法神経科学研究会（会長）				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Development of the fundamental training and evaluation tool for the prosthetic body-powered split hook: a preliminary correlational study	共著	あり	Journal of Prosthetics and Orthotics 31(2), pp.104-111	Nakagawa M, Sasao K, <u>Ishioka T</u> , Suzuki M, Hamaguchi T	2019.4
2	Support Vector Machine-Based Classifier for the Assessment of Finger Movement of Stroke Patients Undergoing Rehabilitation	共著	あり	Journal of Medical and Biological Engineering volume 40, pp.91-100	Hamaguchi T, Saito T, Suzuki M, <u>Ishioka T</u> , Tomisawa Y, Nakaya N, Abo M	2019.9
3	足圧中心解析による脳卒中片麻痺者が片手でズボン上げる工程の立位姿勢安定性—自立群と監視群の比較—	共著	あり	作業療法38 巻6号 p. 654-662	鳥居誠志, <u>石岡俊之</u> , 小池祐士, 濱口豊太, 中村裕美	2019.12
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	急性期脳卒中患者の心的外傷性ストレス障害と反芻の関係	共同		第53回日本作業療法学会（福岡）	○大木原徹也, 濱口豊太, <u>石岡俊之</u> , 小泉浩平, 高橋秀寿	2019.9
2	脳卒中後うつ症状患者にはヒトの表情刺激に対する注意の損害回避傾向がある	共同		第53回日本作業療法学会（福岡）	○滝澤宏和, 田山淳, 小泉浩平, <u>石岡俊之</u> , 濱口豊太	2019.9
3	パーキンソン病患者の脳深部刺激術後のせん妄出現率と認知機能低下の特徴	共同		第53回日本作業療法学会（福岡）	○佐藤淳矢, <u>石岡俊之</u> , 落合卓	2019.9
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	シンポジウム：多忙な臨床現場において研究を行うために	単独		第5回作業療法神経科学研究会学術集会（札幌）	話題提供者：吉田一生 登壇者：鈴木誠, 宮本礼子, ○ <u>石岡俊之</u> , 澤村大輔, 小川圭太	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）			パーキンソン病の視覚性錯認知出現機序に関する神経心理学と脳科学による検証	研究代表者	2017.4-2020.3.

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	スタートアップセミナー		30	講義の分担およびe-learning教材作成を行った。
2	作業療法学概論		1	科目分担者として高次脳機能の作業療法について1コマ講義を実施し
3	高次脳機能作業療法学	○	8	科目責任者として講義を実施した。
4	高次脳機能作業療法評価学	○	8	科目責任者として講義を実施した。
5	高次脳機能作業療法学特論	○	15	科目責任者として講義を実施した。
6	心身機能作業療法論		3	科目担当者として博士後期課程学生に講義を実施した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	高次脳機能作業療法学演習	○	15	科目責任者として講義を実施した。
2	臨床作業療法演習		2	教科書の執筆、および演習講義及びOSCE試験官を担当した。
3	リハビリテーション学演習(行動神経作業療法学)		3	科目担当者として博士前期課程学生に講義を実施した。
4	心身機能作業療法演習		3	科目担当者として博士後期課程学生に講義を実施した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨地実習Ⅰ-1		2020.2	科目担当者として中間訪問を実施した。報告書、レジユメの評価を実施した
2	臨地実習Ⅱ-1		2019.4-7	科目担当者として中間訪問を実施した。
3	臨地実習Ⅱ-2		2019.4-7	科目担当者として中間訪問を実施した。セミナーにえt評価を実施し
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業研究	2019.4-12	主指導 3名	副指導 名
2	修士論文	2019.4-2020.1	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 4名
3	博士論文	2019.4-2020.1	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 6名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	修士論文審査		主査：1名	
2	博士論文審査		副査：1名	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	2019年度 札幌医科大学保健医療学部 作業療法学科卒業教育講習会 第1回「中枢神経機能障害を呈する患者への評価と治療」講師（招待あり）	札幌医科大学保健医療学部	パーキンソン病患者の非運動症状の特徴—特徴を根拠とした臨床実践の提案—	2019.9
2	品川区高次脳機能障害 サポーター養成講座	品川区、品川総合福祉センター	高次脳機能障害者 サポーター養成講座講師	2019.12-2020.1
3	作業療法神経科学研究会第16回研修会	作業療法神経科学研究会	画像所見のみかた～入門編～ 「臨床に役立つ脳画像の診かた」 「療法士としての脳画像の使い方」	2020.2
4	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター主催勉強会	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談セ	高次脳機能障害者へのグループ訓練に対するスーパーバイザーとして参加	2020.3

(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	日本ニューロリハビリテーション学会	評議委員		
2	全国リハビリテーション学校協会	研修委員会委員		
3	作業療法神経科学研究会	理事, 会長		
4	日本作業療法士協会	学術誌「作業療法」編集協力者		
5	日本作業療法士協会	日本作業療法学会演題査読者		
6	品川総合福祉センター	非常勤作業療法士		
7	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター	非常勤作業療法士		
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容	期間	
1	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター所員		
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会委員		
3	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会部会長		
4	学科等における委員会等	4年生学年担当		
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
1	第5回作業療法神経科学研究会学術集会（札幌）を2019年6月に学術集会の会長として主催した。			